

社会資本総合整備計画 事後評価書

令和02年11月20日

計画の名称	安心して快適に暮らすことができる市街地の形成												
計画の期間	平成27年度 ~ 平成31年度 (5年間)										重点配分対象の該当		
交付対象	奈良市												
計画の目標	本市においては、秩序ある市街地整備により、スプロール化を防ぎ、安全で良好な住宅地の形成を進めている。JR関西線により分断され、大部分が農地であったJR奈良駅南地区では、ミニ開発による宅地が混在するスプロール状態になりつつあり、連続立体事業とともに土地区画整理事業によって、公共施設の整備を行い良好な居住環境を創造する。												
全体事業費(百万円)	合計(A+B+C+D)	2,855	A	2,829	B	26	C	0	D	0	効果促進事業費の割合 C / (A+B+C+D)	0	%

番号	計画の成果目標(定量的指標)			
	定量的指標の定義及び算定式	定量的指標の現況値及び目標値		
		当初現況値 (H26末)	中間目標値 (H29末)	最終目標値 (H31末)
1	道路・公園等の公共施設を整備し、良好な居住環境を創造することで宅地の利用増進を図り、居住人口を増加する。 地区内の居住人口を集計する。	460人	660人	860人
2	道路・公園等の公共施設を整備し、良好な居住環境を創造することで宅地の利用増進を図り、居住人口を増加する。 防犯安全度 = 照明施設の設置道路延長 ÷ 地区内の全道路延長	47%	52%	62%

備考等	個別施設計画を含む	-	国土強靱化を含む	-	定住自立圏を含む	-	連携中枢都市圏を含む	-	流域水循環計画を含む	-	地域再生計画を含む	-
-----	-----------	---	----------	---	----------	---	------------	---	------------	---	-----------	---

A 基幹事業

基幹事業(大)	番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	種別1	種別2	要素となる事業名 (事業箇所)	事業内容 (延長・面積等)	市区町村名/ 港湾・地区名	事業実施期間(年度)					全体事業費 (百万円)	費用 便益比	個別施設計画 策定状況	
												H27	H28	H29	H30	H31				
一体的に実施することにより期待される効果																				
備考																				
道路事業	A01-001	街路	一般	奈良市	直接	奈良市	区画	改築	J R奈良駅南地区( (都 )大森西町線ほか2線)	区画整理 A = 14 . 6 ha	奈良市						1,315		-	
												小計						1,315		
市街地整備事業	A13-002	市街地	一般	奈良市	直接	奈良市	-	-	J R奈良駅南特定土地区 画整理事業	都市再生区画整理 A = 14 . 6 ha	奈良市						1,514		-	
												小計						1,514		
										合計							2,829			

B 関連社会資本整備事業

基幹事業（大）	番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	種別1	種別2	要素となる事業名 （事業箇所）	事業内容 （延長・面積等）	市区町村名 / 港湾・地区名	事業実施期間（年度）					全体事業費 （百万円）	費用 便益比	個別施設計画 策定状況
												H27	H28	H29	H30	H31			
		一体的に実施することにより期待される効果																	
		備考																	
道路事業	B01-001	街路	一般	奈良市	直接	奈良市	区画	改築	J R奈良駅南地区（（都 ）大森西町線	区画整理 A = 14.6 ha	奈良市						26	-	
		都市再生区画整理事業と一体となって道路整備を進めることで、調和のとれたまちづくりを行うことができる。																	
											小計						26		
											合計						26		

事後評価

事後評価の実施体制、実施時期	
事後評価の実施体制	事後評価の実施時期
奈良市都市整備部 J R 奈良駅周辺整備事務所で実施	令和 2 年度
	公表の方法
	奈良市ホームページで公表
事業効果の発現状況	
定量的指標に関連する 交付対象事業の効果の発現状況	<ul style="list-style-type: none"> <li>・土地区画整理事業の進捗により、宅地の整備が進むことで住環境が向上し地区内の人口が増加した。</li> <li>・土地区画整理事業により道路整備を行い、防犯灯を設置することにより夜間の通行の安全性が向上した。</li> </ul>
定量的指標以外の交付対象事業の 効果の発現状況（必要に応じて記述）	<ul style="list-style-type: none"> <li>・本計画により都市計画道路の整備や良質な住宅地の整備が進み、狭隘道路が減少したことにより防災機能が向上し、生活環境が著しく改善されている。</li> </ul>
特記事項（今後の方針等）	
次期計画の指標においても目標値を達成できるよう、引き続き事業の推進を図る。	

目標値の達成状況		
番号	指標（略称）	
	目標値 / 実績値	目標値と実績値に差が出た要因
1	地区内居住人口	
	最終目標値	860人
	最終実績値	919人
土地区画整理事業による面整備に伴い、宅地利用が増加し目標値を達成することが出来た。		
2	防犯安全度	
	最終目標値	62%
	最終実績値	60%
土地区画整理事業による面整備に伴い道路は整備されたものの、指標を達成するための整備延長には届かなかった。		